

栃木県那須塩原市 観光活性化特集

DCを飛躍のチャンスに



氣勢をあげる観光関係者ら

栃木DCを成功させ、DC以降の観光振興に弾みをつけよう。那須塩原市は2月9日、JRR黒磯駅前の那須塩原市「DC総決起大会及びお披露目会」を開催した。観光関係者ら約200人が参加し、氣勢をあげた。

DCは市の観光振興を全国にアピールする絶好の機会と捉え、市観光局と旅館・ホテル、飲食店など85施設が協力し合い、四つの食の企画を用意。会場ではお披露目した旅館・ホテルの若手経営者らがその趣旨や狙いを熱く語った。

昨年春のフレDCで実施した観光客の評判も良かった。旅館・ホテルがこだわりの朝食でもてなす「朝食イッピン物語」といちご牛乳を使ったスイーツを提供する「いちごみるくフェア」に加え、新たに郷土料理を使った「養分鍋フェア」や、地酒を飲み比べしてもらう「那須塩原地酒物語」の二つの企画を追加した。市観光局の木下昭彦局長

200人が参加、成功へ氣勢 85施設が協力し企画造成



鏡割にはスペシャルゲストとしてキティちゃんも市のプラントキャラクター、みるひも参加

総決起大会及びお披露目会(2月9日、黒磯石山で)

DCに懸ける思い

那須塩原市長 木下昭彦氏に聞く



「市観光振興にと、握えたものにしなければDCはどんな意味がなくなりますか。また、集客目標は」

「大きなイベントですが、期間中にお客さまがどれだけ増えたかというのにはあまり意味がありません。外に向けては、市の持っている観光コンテンツをしっかりとアピールする、内向きにはコンテンツを磨き上げる良い機会。ヤバは決まっています。まずは、今年DCではコンテンツをよりグレードアップしようという意識が事業者に芽生え、昨年は朝食については内容が薄かった。もうひとつは、お酒を飲むという楽しみを、もっと栃木県産の地酒を味わってほしいという思いから地酒物語を企画しました。旅館・ホテルでは、地酒や飲み比べができるメニューを、観光客に提供しています。DCを通じて地域全体を元気にしたいですね」

DC後を見据えて 観光通じ地域全体を元気に

た、フレDCの成果を踏まえ、今回のDCではコンテンツをよりグレードアップしようという意識が事業者に芽生え、昨年は朝食については内容が薄かった。もうひとつは、お酒を飲むという楽しみを、もっと栃木県産の地酒を味わってほしいという思いから地酒物語を企画しました。旅館・ホテルでは、地酒や飲み比べができるメニューを、観光客に提供しています。DCを通じて地域全体を元気にしたいですね」

「旅館・ホテルの消費単価がなかなか上がりません。飲み比べセットをある程度の金額で提供して、お客さまに楽しんでもらう。旅の楽しみの一つは、地元のおいしいものを食べることです。JRの車内誌、トランヴェールで東日本地域の代表する地酒を特集していたのですが、栃木県産の地酒を、これを生かさない手はないですね」

「失礼ですが、那須塩原にお酒のイメージがあまりない。市に酒蔵はありませんが、江戶時代においては、酒蔵が数多くあったとされています。その酒蔵が、今も残っている。酒蔵の個性も出て、いろいろな味が楽しめる。旅の楽しみの一つは、地元のおいしいものを食べることです。JRの車内誌、トランヴェールで東日本地域の代表する地酒を特集していたのですが、栃木県産の地酒を、これを生かさない手はないですね」

那須塩原地酒物語



41施設が地酒選定



新酒蔵のよき酒と、塩原地酒物語は地酒に、このイメージがあまりない。市に酒蔵はありませんが、江戶時代においては、酒蔵が数多くあったとされています。その酒蔵が、今も残っている。酒蔵の個性も出て、いろいろな味が楽しめる。旅の楽しみの一つは、地元のおいしいものを食べることです。JRの車内誌、トランヴェールで東日本地域の代表する地酒を特集していたのですが、栃木県産の地酒を、これを生かさない手はないですね」

朝食イッピン物語



こだわりの味提供 再訪のきっかけに



フレDCで好評だった朝食イッピン物語は、旅の楽しみの一つは、地元のおいしいものを食べることです。JRの車内誌、トランヴェールで東日本地域の代表する地酒を特集していたのですが、栃木県産の地酒を、これを生かさない手はないですね」

四つの食の企画でアピール

養分鍋フェア



34施設が味を競う ご当地グルメ化を



今DCの新しい企画の一つが「養分鍋フェア」だ。毎年10月に行われる「那須塩原市観光振興フェスティバル」の一環として、市内の旅館・ホテル、飲食店など34施設が参加し、ご当地グルメを競う。味を競うだけでなく、肉や野菜、魚介類など、地産の食材を使った料理も提供される。また、お酒を飲むという楽しみを、もっと栃木県産の地酒を味わってほしいという思いから、地酒物語も企画された。旅館・ホテルでは、地酒や飲み比べができるメニューを、観光客に提供しています。DCを通じて地域全体を元気にしたいですね」

いちごみるくフェア



フライド懸け創作 「食べ比べ」を推奨



那須塩原市は、生乳生産量が全国トップクラス。その牛乳を、おいしくいただくために、旅館・ホテル、飲食店など、市内の施設が協力し、フライド懸け創作を提供する。食べ比べを推奨し、観光客に楽しんでもらう。また、お酒を飲むという楽しみを、もっと栃木県産の地酒を味わってほしいという思いから、地酒物語も企画された。旅館・ホテルでは、地酒や飲み比べができるメニューを、観光客に提供しています。DCを通じて地域全体を元気にしたいですね」